

松井 和彦

高等司法研究科・教授

【研究】

平成29年の民法(債権関係)改正を契機として、改正法に関する教科書、解説の執筆に追われた。目に見える主な成果として、債権総論に関する共著の教科書および契約法に関する共著の教科書を刊行した。このように、一部は公表済みであるが、脱稿しつつも未刊行のもの、執筆中のものが複数ある。

【教育】

春～夏学期に高等司法研究科「民法基礎1」前半部分、「民法基礎2」および「導入演習」を担当し、秋～冬学期に同「民法応用2」を担当した。

【管理運営】

・国際交流室長を務め、部局間交流協定の締結および更新、交換留学生の受け入れおよび派遣など、高等司法研究科・法学研究科・法学部における国際交流事業に関する各種業務を行った。また、全学の国際交流委員会委員として、海外派遣学生候補者の選考や留学に係る各種奨学金・助成金給付候補者の選考を複数回行つた。
・部内委員としては、アドミッション委員会委員を務め、高等司法研究科における入試関連業務を行つた。

【社会貢献】

以下の各種委員等を務めた。

- ・共通到達度確認試験試行試験作問委員(民法)
- ・日本私法学会理事
- ・同志社大学法学部第三者専門評価委員会委員
- ・第70回秋季関西学生法律討論会(2018年10月27日／於・関西学院大学)審査員
- ・第20回新島襄記念法律討論会(2019年3月2日／於・同志社大学)出題者・審査員長